

松の化学で、こたえていく



ハリマ化成グループ



2022-2026年度

中期経営計画

**NEW HARIMA2026**

2022年5月18日

## I 前中期経営計画の振り返り

- 1. NEW HARIMA 2021 連結業績 . . . . . 4
- 2. 基本方針の実施概要 . . . . . 5

## II 長期ビジョン Harima Vision 2030

- 1. Harima Vision 2030 で 目指すもの . . . . . 7
- 2. 自然の恵み製品の拡販計画 . . . . . 8

## III 中期経営計画 NEW HARIMA 2026

- 1. NEW HARIMA 2026概要 . . . . . 10
- 2. 業績目標 . . . . . 11
- 3. 基本方針 . . . . . 12
  - 1) 事業基盤の強化と事業領域の拡充 . . . . . 13
  - 2) 新規事業、成長分野に向けた研究開発 . . . . . 14
  - 3) 新時代に向けた経営の革新
    - ① D X 推進 . . . . . 15
    - ② E S G 経営 . . . . . 16

松の化学で、こたえていく



ハリマ化成グループ



## I 前中期経営計画の振り返り

# 1. NEW HARIMA 2021 連結業績



単位：億円

	2021年度 目 標	2021年度 実 績	差 異
売上高	1,000.0	760.9	▲239.0
営業利益	70.0	32.5	▲37.4
営業利益率	7.0%	4.3%	▲2.7
当期純利益	42.0	17.4	▲24.5
ROE	10.0%	4.9%	▲5.1
自己資本比率	50.0%	46.6%	▲3.4
為替レート(円/米ドル)	110.00	109.90	▲0.10
国産ナフサ(円/KL)	50,000	56,700	+6,700

## 2. 基本方針の実施概要

### 1) 基盤事業の体質強化と未開拓市場へのチャレンジ

- ・ヘンケル社はんだ材料事業の買収契約
- ・製紙用薬品事業の設備増強と拡販（中国）
- ・機能性コート剤の生産能力増強（日本）
- ・パインケミカル事業の統合（中国）
- ・製紙用薬品工場の閉鎖（日本、北米）

### 2) 成長市場のニーズに応える新製品の実績化

研究開発投資（2019-2021年度実績）：7,770百万円

- ・高減衰ゴム用添加剤（制振ダンパー）
- ・光半導体パッケージキズ防止シート
- ・高耐久ソルダペースト（鉛フリー）
- ・断熱材向けバイオポリオール など

### 3) 安全で環境負荷の少ないものづくり

- ・温室効果ガス排出量削減計画策定
- ・リスクアセスメント活動
- ・デジタル化推進

### 4) 本社部門の事業支援機能高度化と業務の効率化

- ・RPA活用
- ・ペーパーレス化
- ・ITセキュリティ強化
- ・購買情報管理システム導入

### 5) 従業員の個性を尊重し、明るく活力のある企業風土の実現

- ・専門職制度導入
- ・社員食堂リニューアル
- ・わーくはぴねす農園参画
- ・在宅勤務制度導入

松の化学で、こたえていく



ハリマ化成グループ



Ⅱ

長期ビジョン Harima Vision 2030

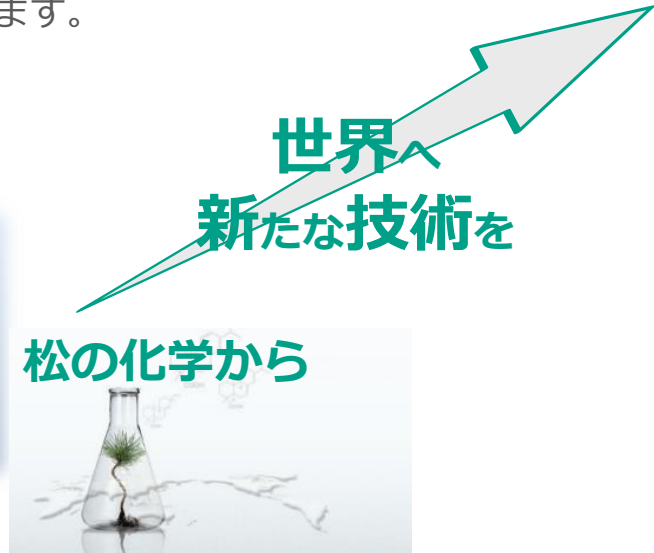
# 1. Harima Vision 2030 で目指すもの

自然の恵みをくらし活かす心と技術で、サステナブルな未来を世界に届けます  
**Pine Chemicals & Beyond ハリマ化成グループ**

当社は「自然の恵みをくらしに活かす企業」として、松から得られるロジン（松やに）、脂肪酸、テレピン油などを使って化学素材をつくるパインケミカル事業で発展してきました。

パインケミカル事業は天然資源を有効活用する地球にやさしい資源循環的なビジネスモデルで、持続可能性の高い社会を建設する目標と親和性の高いものです。

当社は、これからもパインケミカル事業をさらに深掘りして新たな用途開発と事業基盤の強化に努め、世界的な業界**トップティア企業**の地位を目指してチャレンジします。



## <2030年度目標>

売上高	<b>1,200億円</b> 以上
営業利益	<b>85億円</b> 以上
ROE	<b>10%</b> 以上
海外売上高比率	<b>65%</b> 以上
温室効果ガス排出量	<b>50%</b> 削減※

※ 2013年度比ハリマ化成株式会社の日本国内事業ベース

## 2. 自然の恵み製品の拡販計画

わたしたち、ハリマ化成グループはパインケミカルを中心に、**自然環境にやさしい化学素材**で持続可能な循環型社会の実現を目指しています。  
 これからも、**自然の恵み製品**の事業拡大を通じて、よりよい社会の創造に貢献していきます。

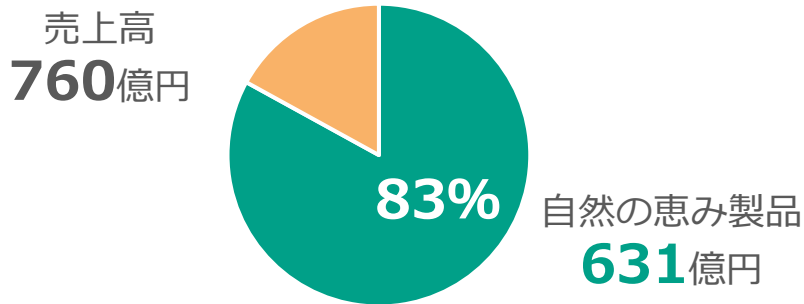
- ハリマ化成グループの強みを活かし、環境負荷を低減しSDGsなどの社会的課題の解決に役立つ製品を**自然の恵み製品**と定義します。

環境価値	製品例
再生可能原料	パインケミカル製品
有害性物質低減	塗料用樹脂
VOC低減	水系樹脂、無溶剤樹脂
リサイクル促進	紙力増強剤
脱プラスチック	バリアコート剤

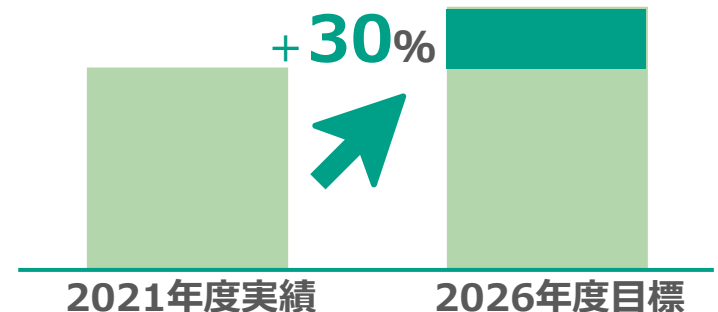


- 拡販計画は、2026年度の売上高を2021年度実績対比**30%増加**させることを目指します。

<2021年度 自然の恵み製品売上高比率>



<自然の恵み製品 拡販計画>





松の化学で、こたえていく



ハリマ化成グループ



Ⅲ

## 中期経営計画 NEW HARIMA 2026

# 1. NEW HARIMA 2026 概要

長期ビジョン **Harima Vision 2030** の実現に向けた達成すべき通過点として、

中期経営計画 **NEW HARIMA 2026**では、

- **事業基盤の強化と事業領域の拡充**
- **新規事業、成長分野に向けた研究開発**
- **新時代に向けた経営の革新**

を基本方針として、持続的な成長を目指します

**企業理念**

HARIMA PHILOSOPHY

**2030年度**  
長期ビジョン

**2026年度**  
中期経営計画

**2021年度**  
実績

わたしたちは、  
自然の恵みを、くらしに活かす企業です

わたしたちは、  
潤いのある、豊かな社会の創造を使命に  
人と技術を大切にする  
グローバルカンパニーを目指します

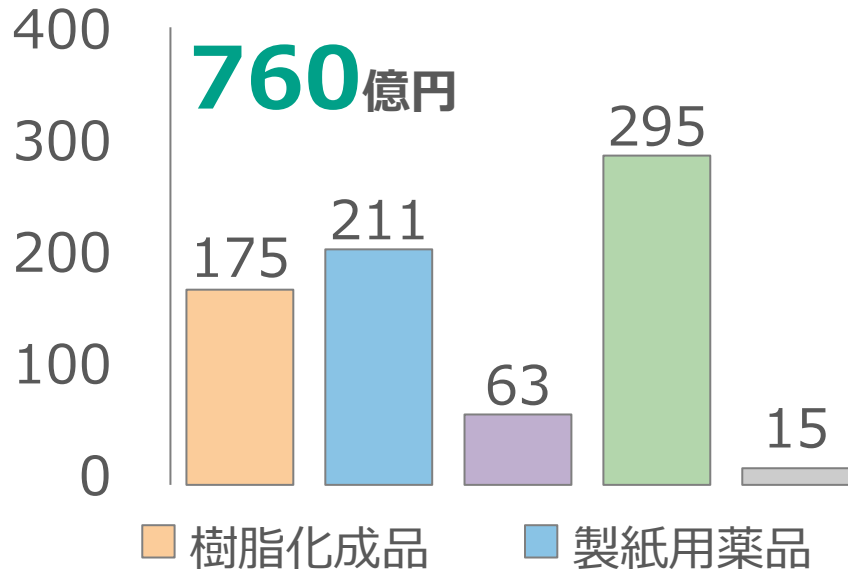
わたしたちは  
理解し、協力し、心から信頼し合うこと  
そして  
知的で感性豊かなチャレンジャーであることを  
行動の基本とします

わたしたちの心は  
YES.ナンバー1

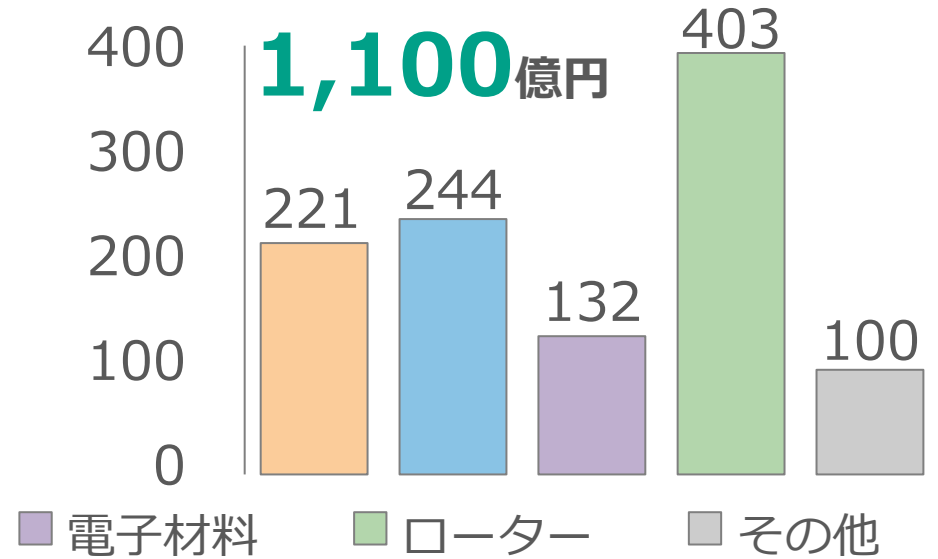
売上高	: <b>760</b> 億円	<b>1,100</b> 億円	<b>1,200</b> 億円以上
営業利益	: <b>32</b> 億円	<b>70</b> 億円	<b>85</b> 億円以上
営業利益率	: <b>4.3</b> %	<b>6.4</b> %	<b>7.0</b> %以上
ROE	: <b>4.9</b> %	<b>10.0</b> %	<b>10.0</b> %以上

## 2. 業績目標

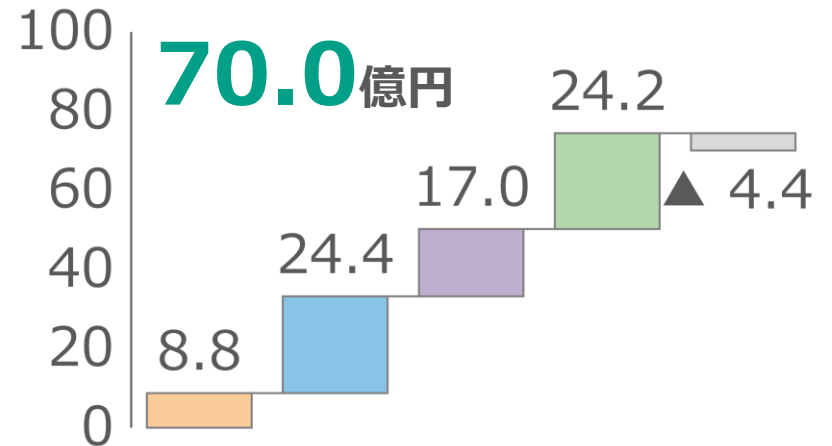
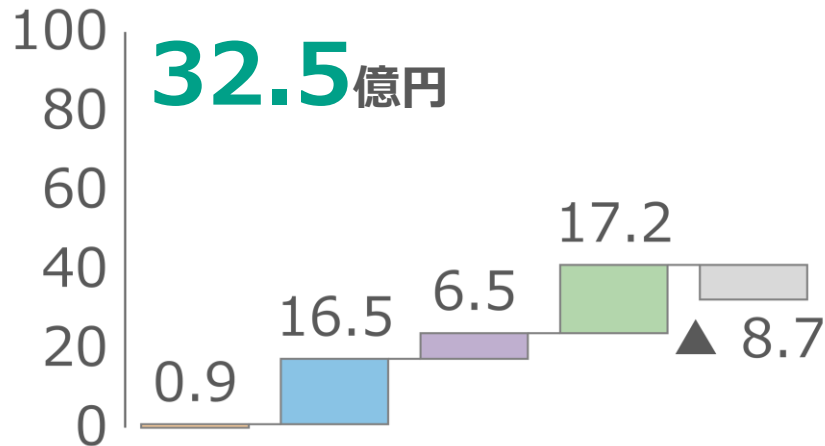
【売上高】 2021年度実績



2026年度目標



【営業利益】



# 3. 基本方針

## 事業基盤の強化と事業領域の拡充

### パインケミカル事業の競争力強化

サプライチェーン強化と新規有価物製造  
新規事業（バイオプロセス、医薬品原体）

### 海外事業領域の拡充

はんだ材料、製紙用薬品、  
粘接着剤用樹脂

### 事業ポートフォリオの見直し

成長分野へ集中投資、  
不採算事業の事業見直し

## 新規事業、成長分野に向けた研究開発

### ゴム用添加剤

機能性ゴム重合乳化剤、制振ゴム向け添加剤  
ゴム機能向上添加剤

### 半導体、5G、IoT

半導体用機能性樹脂（フォトレジスト用樹脂）  
電子部品プロセス材料、高耐久はんだ、LIB用材料

### 環境、ライフサイエンス

脱プラ用紙改質コート剤、フッ素代替表面コート剤  
バイオプロセス、CCS/CCU\*（CO<sub>2</sub>の吸着と利用）

## 新時代に向けた経営の革新

### デジタル技術

生産活動の高度化  
研究のスピードアップ  
情報管理  
業務プロセス見直し

### ESG経営

ガバナンスの強化  
気候変動リスクの開示  
非財務情報の開示  
IR活動の推進

### 働き方

人材マネジメント  
ダイバーシティ  
リモートワーク  
人事制度

### 温室効果ガス 排出量削減

2027年に46%削減  
再生エネルギー利用  
バイオマス燃料拡大  
省エネ推進

※CCS:Carbon dioxide Capture and Storage(CO<sub>2</sub>の吸着、貯蔵)/CCU : Carbon dioxide Capture and Utilization(CO<sub>2</sub>の利用)

# 3.1) 事業基盤の強化と事業領域の拡充

## 海外事業領域の拡大

### はんだ材料事業のグローバル展開

- ・獲得したヘンケル社はんだ材料事業の融合
- ・自動車部品業界、産業機器業界、通信機器業界でのグローバル展開による事業規模拡大

### 製紙用薬品の事業拡大と強化

- ・間接食品添加物に適合した薬剤の市場拡大
- ・北米、中国、東南アジアでの事業展開の加速
- ・サプライチェーン強化とフレキシブルな供給

### 粘着用樹脂のシェア拡大

- ・高シェアの宅配用ラベルの拡販
- ・産業用テープ向け市場での拡販
- ・BCP（事業継続計画）生産体制



## パインケミカル事業の競争力強化

### サプライチェーン強化

- ・主要原材料の安定調達

### 有価物の増産と新規有価物

- ・石油化学製品代替製品
- ・基礎研究と粗トール油精製技術の高度化
- ・インフラ分野、香料分野

### 新規事業

- ・バイオプロセス(生合成)
- ・医薬品原体の研究



### 塗料用樹脂の増販

- ・環境負荷を低減する弱溶剤塗料用樹脂の増販と増産体制強化

### 半導体用機能性樹脂の生産体制強化

- ・需要拡大に向けた生産体制構築

### 不採算事業の事業運営見直し

## 事業ポートフォリオの見直し

# 3.2) 新規事業、成長分野に向けた研究開発

パインケミカルを軸に、成長分野への資源配分を継続し、  
新製品開発による新市場参入を目指す

<p>塗料用樹脂 水系、環境配慮</p>	<p>粘接着剤用樹脂 高耐熱性、高密着</p>	<p>フィルム用 機能性コート剤</p>	<p>紙力増強剤</p>	<p>ロジン系サイズ剤</p>	<p>環境改善薬品 ピッチコントロール</p>
<p>合成ゴム用添加剤</p>	<p>新規領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ素代替離型剤</li> <li>・分散剤</li> <li>・石油化学製品代替製品</li> </ul>	<p>樹脂化成品</p>	<p>製紙用薬品</p>	<p>新規領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱プラ用紙改質コート剤</li> <li>・製紙工程改善薬品</li> </ul>	<p>塗工剤 表面サイズ剤</p>
<p>バイオプロセス (樹脂酸等の合成)</p>	<p>医薬品原体</p>	<p>基礎研究 プロセス開発</p>	<p>電子材料</p>	<p>新規領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワー半導体用材料</li> <li>・LIB用材料</li> </ul>	<p>フォトレジスト用 樹脂</p>
<p>CCS、CCU (CO2吸着と利用)</p>	<p>精留技術の刷新</p>	<p>製造プロセスの 革新</p>	<p>プロセス材料</p>	<p>はんだ材料 高耐久・高密度実装</p>	<p>ろう付け材 アルミ～ニッケル</p>



# 3.3) 新時代に向けた経営の革新① DX推進

## デジタル技術を活用したものづくりとDX体制づくり



### AI・IoT活用による“生産性向上”

- アナログ機器のデジタル化（計測、センサー）と工場データの基盤構築
- 各種データ活用による最適生産体制の構築、予兆・予防保全体制の確立
- デジタル技術を活用した在庫管理※      ● AGV(無人搬送車)による構内物流の効率化



### AI活用による研究開発の“スピードアップ”

- MI（マテリアルズインフォマティクス）を活用した材料開発
- 研究データのデジタル化によるデータドリブン型研究の推進



オフィス

### システム内製化による“業務プロセス効率化”

- ノーコード・ローコード開発によるシステムの内製化



※在庫管理：WMS（Warehouse Management System/倉庫管理システム）  
RFID（Radio Frequency IDentification/ICタグを用いた非接触自動認識）

# 3.3) 新時代に向けた経営の革新② ESG経営

## 経営理念「自然の恵みをくらしに活かす」に沿ったESG経営の推進

### <ハリマ化成グループのサステナビリティ>

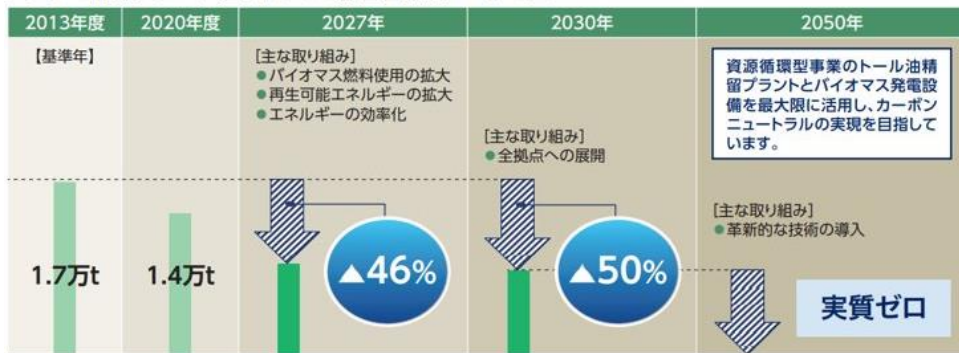
わたしたちハリマ化成グループは、  
企業理念「**自然の恵みをくらしに活かす**」のもと、  
地球環境と共存し、社会とともに発展することを目指します。

- ・事業活動を通じて、社会価値、環境価値を高めます。
- ・すべてのステークホルダーとの対話を深め、経営に反映します。
- ・持続的成長を支えるガバナンスやリスク管理の基盤を整えます。

### <温室効果ガス排出量削減計画>

日本政府が掲げる2030年46%削減(2013年度比)目標を  
**3年前倒し2027年に達成**、2030年には50%削減に向け、  
設備投資とさまざまな施策を計画的に実施します。

■ハリマ化成グループ(国内)のCO<sub>2</sub>排出量削減ロードマップ



### <外部イニシアチブ>

グローバル企業として国際機関や産官学連携などに積極的に関与し、国際的なサステナビリティ規格の評価取得を進めています。グローバルベースでのパートナーシップを深化させ、ハリマ化成グループの社会的インパクトを高めていきます。



### <ESG課題への取り組み>

#### コーポレートガバナンスに沿ったガバナンス強化

- ・ガバナンス体制
- ・人材マネジメント
- ・環境マネジメント
- ・安全品質マネジメント
- ・サプライチェーンマネジメント

#### 気候変動リスクの分析と開示

- ・TCFD対応

#### 情報開示、ステークホルダーとの対話の拡大

- ・統合報告書による情報開示
- ・ウェブサイト情報開示内容の充実
- ・工場見学会、地域貢献活動





# ハリマ化成グループ株式会社

本資料は当社グループについて理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としておりません。また、本資料に含まれる将来の見通しに関する内容は、現時点での仮定に基づくものであり、不確定な要素も含まれております。実際の見通し内容は、様々な要因の変化などにより、異なる場合がありますことをご了承ください。